

令和 7 年度 ハグ保育園 事業計画書

1. 保育園の運営

事業者の経営理念

「健全な子どもは健全な環境が創造する」が経営理念です

家庭と変わらない優しさで寄り添い、一人一人の子どもの生きる力を育てたいという基本理念のもと、豊かな人間性の基礎作りの為に努力していきます。

地域社会における消費や労働の中心は、子育て世帯と考えます。しかしながら、結婚・出産により地域社会からの孤立・育児不安・育児ノイローゼなど多くの問題がとりざたされています。ハグ保育園を運営するヒューマンブリッジ(株)は人材派遣会社です。働きたい子育て世帯のお子様をお預かりすることで、子育ての不安・不満・悩みを解消し、地域社会の活性化につながると考えています。

私たちヒューマンブリッジ(株)の事業所の一つであるサービス付き高齢者向け住宅クオーレ三光に認可外キッズルーム・ハグを平成 24 年 10 月に開設しました。平成 29 年 4 月 1 日より北九州市認可事業所内保育事業所 キッズルーム・ハグとして運営を行っております。また、令和 7 年 4 月 1 日より園名をハグ保育園へ改名しております。私達は子どもの自主性を尊重し、伸ばしてゆく保育事業を展開することで、地域の皆様が安心して子どもを産み、育てられる環境整備の一翼を担うことができると考えています。

(1) 保育理念

「いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲を持って未来を生きる子どもを育む」

(2) 基本方針

「児童憲章」「改正児童福祉法」「子どもの権利条約」「保育所保育指針」に基づき、特に下記の 3 項目の実現を目指した保育を行います。

(1) 子どもの最善の利益の保障

子どもの最善の利益とは、一人ひとりの子どもが平等に愛され、あるがままの自分であることを認められ、幸せに暮らすことができることです。一人ひとりの子どもたちに限りない愛情を注ぎ、人権を尊重し、自分自身を自由に表現できるよう配慮するとともに、職員の資質の向上に努め、より質の高い保育を行うことによって子どもたちのよりよい育ちを保障します。

(2) 保護者に信頼される温かな支援

保育園で長時間過ごす子どもたちですが、あくまで園での活動は家庭養育の補完です。保護者の方のご意向を伺いながら、園とご家庭とで協力体制を築いていくことが不可欠です。子どもたちの幸福のために保護者からの要望があれば真摯に傾聴し、不明な点があれば

わかりやすく説明を行うなど、保護者が安心して子どもを託すことのできる場でありたいと願っています。また、子育てに問題を抱えられている時にはご相談に乗りながら、子どもとよりよい関係が保てるように保護者支援を行っていきます。

(3) 地域の子育て支援の充実

保育園近隣の下曽根地域はそらの街新興住宅やマンション建設で、他の地域から移り住んで来られた若い家庭の方がたくさんお住まいです。地域との接点がなく、子育てに不安を抱える家庭も多い為、園庭解放や体験保育、行事への親子参加を通して、子育てをする人々にとっての子育て支援の拠点となるよう、これからも保育園としての専門性を生かし、地域の子育てニーズに合った事業に取り組んでいきます。

☆『こちいいなあ』 内面の安定 毎日を気持ちよく過ごそう

保護者と連携を取りながら、一人ひとりの子どもの生活のリズムを見通し、食事、排せつ、睡眠、衣服の着脱など人的な関わりによって介助し、健康保持と情緒的な満足感を与える物的・人的環境の保証をしていきます。

また、サービス付き高齢者向け住宅という特性を生かし、高齢者とのふれあい（建物内での挨拶や合同行事・畑の収穫等）の中で、人への関心を深め、人に対する親しみを育んでいきます。

☆『たのしいなあ』 自己受容 のびのびと自分らしく生きよう

私他児と比較することなく、一人一人の成長を丁寧に見ていき、その子に合った援助方法を考えて保育を行っていきます。何らかの原因で心や体に障がい等がある場合は、専門機関と連携をしながら、できるかぎり、その子の成長に合った方法で、保育をすすめていきます。

☆『おもしろいなあ』 自発性 やりたい事を見つけよう

発達過程に合わせた運動・リズム遊びを取り入れ、遊びを通して身体の調和的発達を促していきます。また様々な経験を積み重ねる中で、心と身体を十分に動かし、繰り返し試したり、工夫したりすることで、身の周りの事象などへの興味関心を育んでいきます。

2、地域に根ざした保育園づくりの推進

- ① 保育の公開、保育参観・参加の充実を図ります。
- ② 保護者との協力を深め、共に育ち、育ちあう場として位置付けることに努めます。
- ③ 積極的な地域活動(毎月の清掃活動など)や行事参加(夏祭りなど)に努めます。

3、安心・安全な保育環境

- ① 職員の危機管理能力を高め、安全の確保を図ります。
- ② 幼児の危機回避能力を啓発します。
- ③ 保護者の危機管理能力を啓発します。

4、組織の改善と参画意識の醸成

- ① 研修や会議を通して職員の意識向上を図ります。
- ② 職員のサービスの厳正を図ります。

2.事業所概要

名称	ハグ保育園
所在地	〒800-0213 福岡県北九州市小倉南区中曽根東2丁目10番5号 TEL： 093-473-0880 FAX： 093-473-2224 Mail： hug-kids@humanbridge.co.jp
定員	19名（6ヶ月～2歳まで） 0歳児・・・3名(内 事業所児数1名) 1歳児・・・8名(内 事業所児数1名) 2歳児・・・8名(内 事業所内数1名)
開設日	平成29年4月1日
設置主体	ヒューマンブリッジ株式会社
開園時間	「保育標準時間」 午前7時30分 ～ 午後6時30分 「保育短時間」 午前8時30分 ～ 午後4時30分
休園日	日曜日・祝日・12月29日～翌年1月3日

3 職員配置(4月1日予定)

施設長 1名
常勤保育士 5名
パート保育士 2名

4.運営方針

運営管理を円滑に行う為に以下の会議を開催します。

- ① 職員会議 月1回
- ② ヒヤリハット検討会議 随時
- ③ クラス会議 随時
- ④ 行事等会議 随時
- ⑤ 新年度会議 年1回
- ⑥ 苦情解決委員会 随時

5. 年間行事計画

4月 入園・進級式	10月 ハロウィン エコの日活動
5月 災害時おやつ作り 前期健康診断	11月 勤労感謝の日、生活発表会 後期健康診断
6月 保育参加(運動遊び)、個人懇談、給食試食会	12月 クリスマス会
7月 七夕 水遊び	1月 お正月遊び
8月 夏祭り プール	2月 個人懇談、節分
9月 敬老の日 個人懇談	3月 ひなまつり、お別れ遠足

※毎月1回 誕生日会(但し、誕生児が在籍している月のみ) ・身体測定 ・避難訓練

※高齢者との交流 随時

6. 給食

- ①手作りメニュー・楽しい食事の提供
- ②冷凍母乳の受け入れ・提供
- ③アレルギー除去食・代替食の実施。医師の指示書の下、その都度、保護者と話し合いながら除去を行い、保育・栄養士と連携を行って誤食の事故防止に努める。
- ④食育は保育士・調理担当者と連携し食育計画を策定
- ⑤子どもの発達状況に即し、保育士の要請に応じた調乳・離乳・間食の提供をおこなう。
- ⑥ 保護者への情報提供として給食だよりを毎月発行する。

7. 保健

きめ細かに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や、健康相談等行っていく

- ①身体測定月1回
- ②内科健診年2回(5. 11月)
- ⑥保護者への情報提供として保健だよりのコメントを園便りへメールに掲載
- ⑦職員健診(年1回)
- ⑧職員検便(給食・保育士全職員)毎月1回
- ⑨職員インフルエンザ予防接種

8. 防災・防犯・安全管理

- ① 毎月1回防災訓練の実施

- ② 園外との協働による防災訓練の検討
- ③ 事故防止活動充実のためのヒヤリハットの集約と分析を進めていく
- ④ 防災備蓄品の再点検と充実
- ⑤ 防災対策行動の再点検と充実
- ⑥ 乳幼児の集団保育の怪我事故等のリスクや感染症拡大防止の協力への理解などを図りながら、保育環境を原因とした事故発生撲滅を目指す。
- ⑦ 事故予防の研修・救命救急研修を受講する

9. 職員育成と研修計画

- ① 園内研修の計画を作成し取り組む
- ② 危機管理・安全対策・個人情報などの研修にも取り組む
- ② 関係機関の研修参加
- ③ 自己の保育を知り、自主研修も奨励する
- ④ 他園との交流、見学などを実施して視野を広げる

10. 保護者対応苦情解決

原則、現場→苦情窓口（担当保育士）→苦情責任者（施設長）と段階を作って対応し、苦情解決を図る。

11. メンタルヘルス

職員の労働衛生安全上、メンタルヘルスの向上は事故防止とも直結する。

メンタルヘルスの改善には、健康が保障される職場・休憩や有休取得が可能な職場・職員間で保育内容・保護者のことを話し合い共感しあえる職場環境が必要。組織運営や研修・会議等いろいろな活動を通して向上させていきたい。

- ①事故・苦情発生への適切で迅速な対応と解決
- ②風通しの良い職員組織
- ③肯定的なコミュニケーション
- ④書類の合理化・ICT活用
- ⑤休暇取得・研修派遣の可能な勤務体系

12. 中長期計画

中 長 期 計 画	内容	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
	園庭の整備			○
	室内のメンテナンス	○		
	防災・防犯及び整備 計画(3年に一度)		○	
	全体的な計画見直し (2年に一度)	○		○
	第三者評価		○	
	保健衛生計画 (3年に一度)	○		
	子育て支援 (3年に一度)			○
	食育計画 (3年に一度)		○	
	職員育成(研修計画) 見直し(2年に一度)	○		○
	ホームページの見直し (認知度を高める)			○